



松山市議 吉富健一の政務活動報告 よしとみマン通信

第11号
2015.1月号
発行) 松山市議
吉富健一

郷土の偉人・盲目の社会活動家 森盲天外を顕彰!! 特集展示「森盲天外一生誕 150周年」が開催!!

特集展示「森盲天外一生誕 150周年」が松山市子規記念博物館で開催され、森盲天外の俳句や書が展示されています。

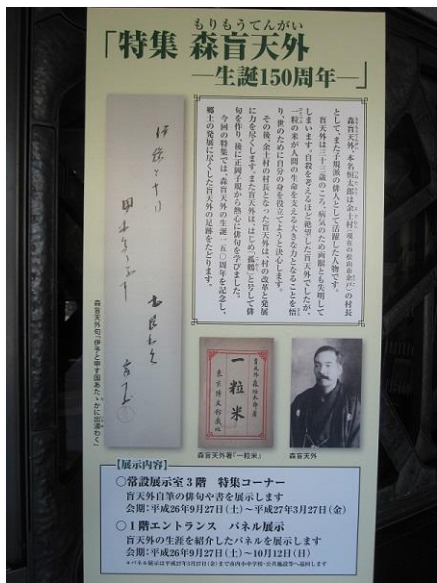
- ▶ 平成26年9月27日～平成27年3月27日
- ▶ 常設展示室3階/特集コーナー

1階ロビーのパネル展示はすでに終了しましたが、平成27年3月27日まで、市内小中学校や公共施設等に巡回展示されています。



平成26年秋、よしとみは子規記念博物館を訪問し、改めて展示内容の説明を受けました。

- 📖 平成26年は盲天外生誕150年。現在の松山市余戸に生まれた盲天外は予讀新報の刊行や県会議員を務めるなど、多方面で活躍しました。しかし、両眼を失明。3度の自殺を企てた盲天外でしたが、一粒の米が人間の肉体や精神にまで進化を及ぼすことを悟り、世のために自分の身を役立てようと決心します。
- 📖 明治31年、盲天外は余土村の村長に就任。青少年教育や農地改革などを柱とする「余土村是」を作成し、全国的に高い評価を受けました。また盲啞学校設立に関与し、道後「天心園」を創設して青年たちの教育や相談に応ずるなど、生涯にわたって社会教化に力を尽くしました。
- 📖 盲天外は孤鶴と号して句作り、明治24年には俳誌「はせを影」を刊行。同誌には、当時学生であった子規も寄稿しました。さらには松山の子規派俳句結社「松風会」に参加し、子規から句作指導を受けます。
- 📖 また、農学者の新渡戸稻造とも親交があり、昭和7年には新渡戸を松山に招いています。



森盲天外の顕彰については、「一粒米の会」今岡さんが一貫して尽力されています。平成22年10月、今岡さんはたくさんの資料を見せてくださった後、「行政や関係者の協力がなかなか得られない。松山市は郷土の偉人・盲天外をもっと顕彰すべきではないのか。それが、文化じゃないですか!」と訴えられました。

知るほどに、盲天外の革新性と先進性、人間の可能性を実証する足跡によしとみも感嘆。盲天外に招かれた新渡戸氏は松山での発言が軍部の反発を受け、それが渡米の原因ともなったようです。(松山事件)

平成24年9月、よしとみは松山市定例会で一般質問。
「松山事件から80周年のこの機会に、ご当地からも何らかの発信をしてはどうか。」

また、郷土の偉人 森盲天外について、本市の認識はどうか。その足跡をゆかりの地で顕彰してはどうか。」

森盲天外の描いた軌跡は勇気と希望を与えてくれます。



外環の案内標識は緑がいい？ 青がいい？

このほど一部が開通した松山外環状道路。これにより、井門 - 古川間の移動時間が大幅に短縮されました。ところで…よくあるのが、「外環状道路の案内標識は並んで掲示されている高速松山道と同じ緑であり、運転手が判断に迷う。急な進路変更による事故の危険性もあり、今のうちに改良すべきではないか」というご意見。

「その通り」だとよしとみも思い、さっそく国土交通省に問い合わせ。しかし、国交省の見解は次のようなものでした。



- ① 標識等の手引きには、一般道路の案内標識は『青地に白』、高速道路等は『緑地に白』と定められている。
- ② 高速道路等とは一般道路以外の道路で、自転車や125cc以下の自動二輪は通行できない自動車専用道路も含まれる。
- ③ 松山外環状道路は自動車専用道路なので、外環は『緑地に白』の案内標識である。

このことを市民の方にお知らせしましたが、「緑は高速道路でしょう」とか、「このまま高速に入ったらどうしようと、いつも迷う」とか、「高速に乗ろうとして、逆に一般道に降りてしまった」などのお声が相次ぎ、よしとみは松山市平成26年9月定例会の一般質問でこのことを取り上げ、指摘しました。今後の推移を見守りたいと思います。

声を、もっと

平成26年9月22日。市民の皆様の声をもとに、現地調査を踏まえ、6回目の一般質問をしました。中項目までは下記のとおり。

1. 本市南部における道路環境の整備について

- (1) 「松山外環状道路」一部開通に伴う諸課題について
- (2) 松山市道「はなみずき通り」の整備などについて

2. 道後温泉の活性化について

- (1) 「道後オンセナート2014」の波及効果など
- (2) 「見せる」道後温泉本館修復工事について
- (3) 「参加する」道後温泉本館修復工事について

3. 文化芸術振興に関して

- (1) アートの拠点の創設について

4. 新しいニーズに対応するための教育・若者支援の取り組みについて

- (1) 学校教育現場における法的対応について
- (2) 社会保障教育の充実について
- (3) 若い家族介護者「ヤングケアラー」の課題について

5. 地域包括ケアシステムの構築について

- (1) 地域包括ケアシステムにかかる介護保険事業計画について
- (2) 地域包括ケアシステムを支える基幹的サービスの確保について
- (3) サービス付き高齢者向け住宅の整備について
- (4) 認知症高齢者への支援について



吉富健一
連絡先

吉富健一
HP & ブログ

よしとみマン日記

検索

<http://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>

ひとことメッセージ



今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。

吉富健一(本人) 協力者 ()

本年もよろしくお願ひ申し上げます。